

福祉サービス評価結果

共通項目編

I 福祉サービスの基本方針と組織		評価	評価の根拠・コメント
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
	① 理念が明文化されている。	a	○法人としての保育理念は、利用者に対する案内に保育目標として明文化されており、地域の特性を踏まえた施設の使命や、目指す方向等の考え方を読み取ることができる。
	② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	○基本方針には地域社会に対する使命や役割として、園内を開放したり、一時保育や子育て支援等を実施しており、保育の方針や目標の内容は適切である。行政が作成している多久市内の保育所12ヶ所をとりまとめたパンフレットでも、当保育所の基本方針が示されている。
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a	○定期的に職員全体会議や施設内外の研修において、基本理念に基づく保育方針の周知に継続的に取り組んでいる。
	② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	○保護者に対して、基本方針と目標を明示したものを配布している。毎月の行事や保育参観時等にも、具体的な内容を説明している。 ○園内に理念や基本方針を掲示しているが、周知状況の確認と理解を促す継続的な取り組みの充実が期待される。
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
	① 中・長期計画が策定されている。	c	○職員全体会議や朝礼時に、中・長期計画を視野に入れた検討事項が説明されているが、具体的な計画策定には至っていない。中長期のビジョンを明確にし書面による計画策定が望まれる。
	② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c	○課題や問題解決に向けての中・長期計画を策定し、その内容を反映した事業計画の策定が望まれる。
2 計画の策定			
(2) 計画が適切に策定されている。			
	① 計画の策定が組織的に行われている。	a	○年度計画においては、職員からの個別意見書の提出や、定期的な職員会議を実施し、評価や見直しが行われている。
	② 計画が職員や利用者等に周知されている。	b	○各計画は、保護者に対して毎月の園便りやクラス便りなどで伝えられているが、保育講座等における説明や分かりやすい資料を作成するなどの工夫が求められる。

3 管理者の責任とリーダーシップ		評価	評価の根拠・コメント
(1)管理者の責任が明確にされている。			
	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	○管理者は、施設内の会議・研修や法人全体の会議等において、自己の役割と責任を表明するなど、積極的に取り組んでいる。
	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	○管理者は、各種の会議や研修に参加するなど、積極的に自己啓発に努めている。
(2)管理者のリーダーシップが発揮されている。			
	① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a	○管理者は、福祉サービスの質の向上に向けて、専門家を招いた研修を実施するなど積極的に取り組み、個別保育の場面においても適宜指導に努めている。
	② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a	○管理者は、各種研修に参加し、事業所内においても専門家を招いて研修を行うなど、人事、労務、財務等の面からの経営分析をし、経営や業務の効率化、改善に向けた取り組みを行っている。
I 福祉サービスの基本方針と組織			
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(2)管理者のリーダーシップが発揮されている。			
	③ 管理者は、代表者とともに福祉サービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任を踏まえて、ともに取り組んでいる。	a	○法人代表が管理者であり、それぞれの役割と責任において、理念に沿った取り組みを実施している。 ○管理者は権限と責任を強く意識して取り組んでいるが、全職員とともに質の向上に向けた取り組みが期待される。
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1)経営環境の変化等に適切に対応している。			
	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	○平成19年3月に移転・新築した施設であり、行政と連携をとり、地域のニーズを把握するため、市町や地域の会議等に参加しているが、保育サービス全体に対するニーズ、潜在的利用者に関する情報収集など、長期的視野に立った事業経営を進めていく取組みまでには至っていない。
	② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b	○経営状況等の改善すべき課題については、職員会議や朝礼時において口頭で説明されているが、定期的に福祉サービスのコスト分析や、利用者の推移等を踏まえた改善に向けた具体的な取組みは行われていない。
	③ 外部監査が実施されている。	c	○役員会前に当日資料について点検してもらうなど、司法書士のアドバイスを受けているが、公認会計士等専門家による外部監査ではない。今後は、適切な財務管理や会計処理を確保し経営上の改善課題の発見とその解決のための客観的な指摘アドバイスを 得るためにも、外部監査を実施し公認会計士など専門家の指導を受けるなど、経営改善への取組みが期待される。

2 人材の確保・養成		評価	評価の根拠・コメント
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	○人事管理に関する方針や目標は定められているが、具体的なプランとはなっていない。 ○質の高い保育サービス提供と計画に基づいた人事管理を行うため、必要な人材の確保や人材養成の体制についての具体的なプラン策定が期待される。
II 組織の運営管理			
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
	② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c	○人事考課制度の検討はなされており、今後、導入を予定している。
(2) 職員の就業状況について配慮がなされている。			
	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	○職員の有給休暇の消化状況や、時間外勤務の状況が把握されている。相談室を設け、定期的に職員が相談できる体制を整えているが、把握された意向や意見について、分析・検討する取組みが期待される。
	② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	b	○福利厚生に関しては、入園式や保育祭や運動会等の行事後の親睦会、茶話会を年間4、5回実施しているが、職員のニーズの実態を把握し、効果的な福利厚生の充実に向けた取組が期待される。
	③ 職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を取り入れている。	b	○相談室を設置し、主任が窓口になり、職員の業務上の悩みを聞き、ストレスの解消に取り組んでいる。相談窓口を複数化したり、他施設の職員や関係者との交流等、ストレス解消の機会を拡げていくなどの取組みも求められる。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	○施設が目指す福祉サービスを実施するために、施設内外での教育研修に3、4名程度の職員を派遣し、専門的な知識・技術の習得に努めている。研修参加後は、復命書を作成し全職員に伝達する仕組みが確立している。
	② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a	○職員の個別の課題に基づき研修計画が策定されており、具体的な取組が行われている。

II 組織の運営管理		評価	評価の根拠・コメント
2 人材の確保・養成			
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	<p>○研修終了後、職員の報告レポートが作成されている。</p> <p>○研修報告は、毎月職員会議を通して他の職員にも伝達され、一人の研修成果が全職員に共有されている。研修報告や保育サービス等の習熟度を見ながら、次の研修派遣を計画的に行っているが、研修成果の評価・分析を反映した取組みが期待される。</p>
(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
	① 実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a	<p>○実習生の受け入れについては、主任が受け入れ担当としてマニュアルを作成し、全職員に周知し取り組んでいる。年間5、6回の受け入れがある。</p> <p>○受け入れに当たっては、学校と覚え書きを取り交わす等、実習における責任体制の確立に努めている。</p>
	② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a	<p>○実習内容については、学校側と連携してプログラムを作成し、計画的に学べるように配慮し実施している。</p>
II 組織の運営管理			
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保する取組みが行われている。			
	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b	<p>○事故発生対応のマニュアル、衛生管理のマニュアル等を作成して、全職員に周知し、施設内に緊急時対応のマニュアルを掲示し、体制を整備している。</p> <p>○不審者の侵入等については、警備会社のセンサー設置や、警察署のパトロールの強化など、安全確保の取組みを行っているが、事故防止策の定期的な評価・見直しの取組みが期待される。</p>
	② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	<p>○安全対策としては、毎週遊具等の点検を行い、施設内外の危険箇所について全職員が把握するなどして、未然防止に努めている。</p>
II 組織の運営管理			
4 地域との交流と連携			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	<p>○毎週水曜日を施設開放日と定め、地域の高齢者等に自由に出入りをしてもらい、地域との交流を行っている。</p> <p>○地域での行事(町民運動会、老人会訪問、八幡神社秋祭り等)に定期的に参加する等、地域との関わりを重んじている。</p>
	② 事業所(施設)が有する機能を地域に還元している。	a	<p>○「おじいちゃんおばあちゃんありがとう会」を毎年計画し、地域の高齢者の施設への招待を実施している。</p> <p>○一時保育や子育て支援サークルの体制を整備し、チラシを公民館や公的機関に配布するなど、地域での支援活動を実施している。</p>
	③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<p>○毎月、「食事のエプロン隊」等のボランティアの訪問があり、講習会を実施している。</p> <p>○主任が受け入れ担当としてマニュアルを作成し、施設の行事等に、中学生や実習生等をボランティアとして受け入れている。</p>

(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価	評価の根拠・コメント
	① 必要な社会資源を明確にしている。	b	○行政機関や地域内の全保育園、学校、民生委員児童委員などの機関・団体との連携を取り、職員会議や朝礼等において、職員間での情報の共有化を図っている。関係機関等の連絡先は、各種マニュアルの中に記載されているが、体系的な明示が望まれる。
	② 関係機関等との連携が適切に行われている。	b	○定期的に、行政や園長会等の関係機関・団体と共通する問題について、解決に向けた協議をし、取組みを実施しているが、全職員で共有化するとともに、関係機関・団体に対して積極的に問題提起を行うなどの取組みが期待される。
II 組織の運営管理			
4 地域との交流と連携			
(3) 地域の福祉向上のための取組みを行っている。			
	① 地域の福祉ニーズを把握している。	b	○民生委員児童委員や主任児童委員が理事として入っていて、定期的な会議の他にも適宜会議を開催し、ニーズの把握に努めているが、具体的な取組みが期待される。
	② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b	○地域のニーズに基づき、一時保育サービスや育児支援サービス、延長保育(午前7時～午後7時)等の事業の取組みを行っているが、把握したニーズに基づいた具体的な事業や活動を中長期計画や事業計画に明示する等の取組みが求められる。
III 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
	① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	○子どもが安心して生活出来る環境を整え一人ひとりの子どもを受容し、子どもの特性に応じた発育を援助する保育カリキュラムの作成及びその実施に取り組んでいる。 ○子ども一人ひとりを尊重した保育方針、保育目標がパンフレットに明示され、保護者へ伝えられている。職員へは、職員会議等で周知され共通理解が図られている。
	② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b	○園児のケース記録等に関しては、書類棚に鍵をかけるなど管理者のもとで管理している。 ○利用者のプライバシー保護については、規程やマニュアルを作成し周知を図っているが、全職員で共有化されているとは言い難い。
(2) 利用者満足の向上に努めている。			
	① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	b	○利用者の意見や要望については、入園時、保育参観、保育講座等において、意見や要望を受け付け迅速に対応しているが、保護者との連絡帳やニーズ調査等により、保育サービスに対する保護者の要望に対応し満足度をより高める取組みが期待される。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		評価	評価の根拠・コメント
1 利用者本位の福祉サービス			
(2)利用者満足の向上に努めている。		b	○利用者満足に関しては、保護者からの意見や苦情等に対応しているが、職員の検討会議を実施、記録の作成や調査結果を活用する仕組みなど、改善に向けてのマニュアル整備等の取組みを期待したい。
	② 利用者満足の向上に向けた取組を行っている。		
(3)利用者が意見等を述べやすい体制が整備されている。		a	○施設内に「意見箱」を設置したり、相談室を開放し気軽に相談に対応出来る体制が整備されている。 ○日頃から、利用者とのコミュニケーションを図って、担当者に対して直接に意見を述べることが出来るように配慮したり、連絡帳を利用してもらう取組みが実施されている。
	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。		
	② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。		
	③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	○保護者からの意見に対する対応マニュアル等が整備されている。 ○県主催の家庭教育相談員の研修に職員を派遣するなど、迅速に対応できる体制が整えられている。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		評価	評価の根拠・コメント
2 福祉サービスの質の確保			
(1)質の向上に向けた取組みが組織的に行われている。		a	○第三者評価に取り組んでおり、評価に関する職員会議も実施しているが、評価の課題を今後の保育に反映されるよう期待したい。 ○自己評価については、共通理解が出来ている。
	① 福祉サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		
	② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		
	③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	○職員間で課題の共有化を図っているが、分析した結果やそれに基づく課題等が文章化されていないため、今後、評価結果の分析に組織的な検討を加えるなどの取組みが期待される。
		b	○今回の評価結果を、保育サービスの質の向上に向けた取組み課題として認識し、管理者・職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定し、目標や中・長期計画を策定するなど、段階的な課題解決に向けての取組みが期待される。

(2) 個々の福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価	評価の根拠・コメント
	① 個々の福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	○標準的な保育サービスの実施方法については、研修や個別指導等により職員に周知徹底し、年度ごとの事業計画や保育目標として策定し、発達段階に応じた保育カリキュラムに反映させている。
	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	○年間や月間計画等を定期的に見直しており、標準的な保育サービスについては、理事会等において検討し、定期的な見直しが行われている。
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
	① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	○保育記録については、一人ひとりの児童票に詳細に記録され整備されている。 ○保育記録については、子どもの状態について具体的に記録されており職員間で情報共有が図られている。
III 適切な福祉サービスの実施			
2 福祉サービスの質の確保			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	○子ども等の記録の保存や保管、廃棄についての規程が整備されており、適切に管理されている。 ○個人情報の保護に関しては、随時研修が実施されており、守秘義務についても全職員に周知している。
	③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	○検討会議の開催や、毎日の朝礼終礼時に、子どもたちの情報の共有化を図る取り組みが行われている。
3 福祉サービスの開始・継続			
(1) 福祉サービス提供の開始が適切に行われている。			
	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を提供している。	a	○利用希望者に対する情報提供として、入園のしおりやチラシを配布している。誰にでも入手出来るよう、公共施設等に置いている。
	② 福祉サービスの開始に当たり利用者等に説明し同意を得ている。	a	○行政からのパンフレットや施設の入園時のしおりなどで、利用者等に対して、保育サービス内容や利用料金など詳細に説明を行っている。
(2) 福祉サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
	① 事業所(施設)の変更や家庭への移行などに当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	○保護者の意向を尊重した対応に努めている。行政との連携も密にとり、保護者等からの相談にも適切に対応しているが、保育所変更の際の手順、送り等の内容を具体的に明示し全職員の共有化を図り、継続性を損なわないよう配慮する取組みが期待される。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		評価	評価の根拠・コメント
4 福祉サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	○園児の身体状況や、生活状況、行動の特徴等は、手順を定めたアセスメントによる入園時の面談により児童票に記載され、毎月見直し検討がなされるなど適切に把握されている。
	② 利用者の課題を個別の福祉サービス場面ごとに明示している。	a	○把握した情報は、児童票に記載され、ニーズ・課題が明示されており、個別の保育方針に活かされている。
(2) 利用者に対する福祉サービス実施計画が策定されている。			
	① 福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	○クラス別や年齢別に保育計画が策定されている。これにより一人ひとりの子どもに着目した指導計画を策定したものを児童票に記載され、子どもの特性を尊重したサービス提供に努めている。
	② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	○保育計画は、年齢別に策定されている。発達段階に応じて目標が設定され、保育サービス実施後手順を定めた評価見直しを行い、保護者の同意を得ながら、記録されている。